

## 0580 | 造形基礎 III

2 単位（通信授業 1 単位、面接授業 1 単位）

白尾隆太郎教授、大浦一志教授、原一史教授、山本靖久教授、高崎葉子講師、山本晶講師、木多美紀子講師、野崎麻理講師

## 授業の概要と目標

造形基礎Ⅲ「感情と色彩」では、色彩の原初的体験と色彩の対比について学ぶ。色は、光が物に当たり反射することによって脳が感じている光の波長である。物質の性質の違いによって私たちには異なった色として見えるが、そんな色に対して私たちは子どもの頃から「美しさ」や「面白さ」を感じ、花や木や太陽をクレヨンなどの色材を使って描いたりしてきた。色は、私たちに様々な感覚や感情を抱かせる魅力的な要素なのである。

通信授業課題では、様々な素材の色を採取する。恣意的に色を選択するのではなく、自然からものを選び、その色の特長や色の組み合わせに美しさや面白さを感じながら、新しい色を発見することが目的である。面接授業課題では多人数の中での課題制作を通して、たくさんの色彩表現の可能性を体験することになるだろう。

色彩は美術やデザインを学ぶものにとって、形の修練と並んで大切な要素であり、原点に立ち返って様々な色を体験して欲しい。たくさんの色を経験することによって得られた色彩表現の可能性は、必ずやこれから進む分野で生かされることだと思われる。

## 課題の概要

## ○通信授業課題

1-1 色のレシピ

1-2 色のハーモニー

## ○面接授業課題

感情と色彩表現に関連した課題制作を行う。自由な描画方法により、各自がそれぞれの色彩による感情表現を学習する。

## 授業計画

## [通信授業]

教科書『造形基礎』の「造形基礎Ⅲ 感情と色彩」を参照。

学習指導書『造形基礎Ⅰ～Ⅳ 平成 29 年度』の「造形基礎Ⅲ」を参照。

## [面接授業]

第 1 日 午前：課題説明とワークショップ 午後：制作

第 2 日 午前：制作 午後：制作・講評

○LP オンラインプラス [準備] ー面接授業事前説明動画配信

Web キャンパス学生メニューの【動画視聴】にて面接授業の事前説明動画を配信する。

## 成績評価の方法

[通信授業] 通信授業では課題 1-1 と 1-2 をそれぞれ個別に採点し平均の評価とする。

[面接授業] 面接授業の評価はエスキース、スケッチを含めた全体評価とする。

科目の評価は、通信授業と面接授業の平均とする。

## 履修条件及び履修年次

[履修年次] 1 年次

[履修条件] なし

[備 考] 必修科目（3 年次編入学生を除く）。

1 年次に履修すること（2 年次編入学生は 2 年次）。3 年次編入学生は必修ではない。

地方会場でのスクーリング時に、受講人数を制限する場合がある。

## 教材等

教科書：『造形基礎』（武蔵野美術大学出版局 2002 年）

学習指導書：学習指導書『造形基礎Ⅰ～Ⅳ 平成 29 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）

## その他

オンラインプラス（Web 上で行う面接授業補助プログラム）を受講する場合は、インターネットに接続できる環境が必要となる。